

なるほどのっ



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

7月号



【中学校授業改善シリーズ 高校入試編】
県立高校入試の問題を分析し、授業改善へつなげる

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
全ての子どもが安心して2学期を迎えるために

～円滑な幼保小連携・接続をめざして～
保育体験・保育参観のススメ

【西部地域開催】
鳥取県エキスパート認定教員による
公開授業の御案内

県立高校入試の問題を分析し、授業改善へつなげる



令和7年3月に実施された県立高校入試の問題について、「学力検査の結果（得点状況等）」が令和7年4月16日に県教育委員会高等学校課のホームページに公開されました。

各教科の平均点だけでなく、得点分布や出題のねらい、各問における正答率（抽出答案による）などを見ることができます。



令和7年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査結果
（得点状況等）

《令和7年度結果等から分かること》

得点の状況
得点分布

各教科の
ねらいと分析

各教科の
出題の基本方針

各教科の
正答率等

各教科の
結果の概要

生徒に求められる資質・能力を育成するために、次の視点で授業改善に取り組みましょう。



①出題のねらいと
分析を確認

②授業で身に付ける
資質・能力の明確化

③生徒の実態を
把握

⑤生徒の学習
意欲を喚起

④授業改善と効果的
指導の工夫

例えば・・・社会で見えていきましょう。

〈出題のねらい〉

社会的な事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題した。

〈正答率等からの分析〉

・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する公民としての資質・能力を育成する授業づくりが求められる。



令和7年度 中学校学力向上研修

～全国学力・学習状況調査及び

鳥取県の高校入試の問題から授業改善の方向性を紐解く～

【国 語】

7月31日(木) 中部総合事務所 講堂

- 時間：午前9時30分から正午まで
- 講師：文部科学省 学力調査官
山内 裕介 氏

【数 学】

7月31日(木) 中部総合事務所
201、202会議室

- 時間：午前9時30分から正午まで
- 講師：文部科学省 学力調査官
島尾 裕介 氏

※全国学力・学習状況調査及び高校入試の問題の活用をとおして、中学校国語科・数学科で「今、求められる資質・能力」を子どもたちが身に付けるための授業改善のポイントを学びます。



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 全ての子どもが安心して2学期を迎えるために

西部教育局
お役立ち情報
令和7年7月号

学期末の終わり方や**夏休みの過ごし方**は、2学期のスタートに重要な意味をもちます。全ての子どもが安心して2学期を迎えるために、期末懇談について学校全体で共通理解を図りましょう。

2学期につながる期末懇談実施のポイント(例)

期末懇談は、保護者の方に「〇〇さんのことを一緒に考えていきたい。」という思いを直接伝えることのできる絶好の機会です。短い時間の中でも、保護者の方が「話せてよかった」と思ってもらえるような時間にしましょう。

ポイント① 子どもの様子を具体的な場面を通した姿で伝える

〇〇さん、よく頑張っていますよ！お家での様子はどうですか？

うちの子、何を頑張っているのかしら？



体育祭の時に、グッズ係として最後まで丁寧に制作してくれました。

家庭科の時に、ボタン付けができなくて困っている友だちに優しく声をかけてアドバイスしながら取り組んでいました。

保護者は、学校での子どもの様子を知るために来校されます。忙しいなか時間を割いて来てもらった保護者に学習状況や学校生活での様子を、より**具体的な姿**で伝えることが重要です。そのためにも、日々の活動のなかで「**みる・きく・認める**」から始まる児童生徒理解を今一度意識してみましょう。



R4.5月号
「みる・きく・認める」
からの学級づくり

ポイント② 子どもや保護者の気持ちに寄り添って伝える

〇〇さん、授業中に席を立つことが多くて。何度も言ってるんですがお家でもお願いします。

落ち着きがないことはずっと言われている。一体どうしたらいいんだろう？



〇〇の教科の授業で、とても集中して学習に取り組んでいましたよ。

席を立つときには、何か困っていることがあるかもしれません。お家でも話を聞いてあげてもらえますか？
一緒に作戦を考えていきましょう。

本人の困り感などの背景を考えたり、困っていることのなかでもよい方に变化したことを伝えたりするなど**子どもの気持ちに寄り添った伝え方**を考えることも大切です。

ポイント③ 夏休み中の子どもを見守る取組を提案する

夏休みは、お家にいる時間が長いと思いますので、家庭でしっかりと見守ってください。

子どもは夏休みかもしれないけど私は仕事があつて日中は家にいないのに。



もし、夏休み中に悩み事や困ったことがあった時に、どのような方法で相談いただくか事前に決めておきましょう。

〇〇さんが安心して2学期のスタートがきれよう、2学期が始まる前にお電話させていただいてもよろしいでしょうか。

前年度欠席が多かった子どもが、1学期にがんばって登校していたが、長期休業後に再び欠席が見られるようになります。2学期のスタートに**不安を抱きそうな子どもの姿を想定**し、夏休み中にできる支援を保護者に提案したり、一緒に考えたりしていくことで信頼関係の構築にもつながります。

頑張りすぎた1学期の反動
モチベーションの低下
2学期への不安
基本的な生活習慣の乱れ 等



園と学校、互いの教育内容や指導方法の理解を深められるよう、夏休み期間を利用して、園と小学校等の教職員等の連携・交流の充実に努めましょう。

鳥取県の幼保小連携・接続のポイント「3つのつなぐ」

組織をつなぐ

- 管理職同士のつながり（連絡協議会等）
- 連携推進担当者同士のつながり（連絡会等）
- 架け橋期の子どもの育ちについての引継ぎ
- 園、学校、学級だより等の送付・掲示等

人をつなぐ

- 子ども同士の交流
 - ・ 互いのねらいを明確にした交流
- 教職員等の相互理解
 - ・ 保育参観・授業参観
 - ・ 保育体験
 - ・ 授業補助体験等

教育をつなぐ

- 期待する子ども像（めざす子ども像）についての協議
- 共通の視点での話し合い・相互理解
- 架け橋期のカリキュラムの編成・実践・評価・改善



【参考】

第4次鳥取県幼児教育振興プログラム「遊びきる子ども」（令和7年度改訂）P.53～64



幼保小連携・接続の実践例（令和6年度 美保中学校区）

① 合同研修会

② 事前打ち合わせ会

☆ 保育のねらいを共有する

③ 公開保育・保育体験

④ 事後協議

☆ 子どもの姿を付箋に書いて整理・分析

☆ 幼保小接続アドバイザーからの「資質・能力、主体的・対話的で深い学びのつながり」についての講演



実践のポイント



- ・ 見学や体験について、事前事後の対話の機会を持ちましょう。
- ・ 園と学校で期待する子どもの姿（めざす子どもの姿）を共有しましょう。
- ・ 対話を通して子どもたちのことを共に語り合い、保育・教育の改善につなげていきましょう。
- ・ 幼保小合同研修会を実施し、「幼保小の架け橋プログラム」について学びましょう。

令和7年度第1回幼保小接続推進研修会
（オンライン開催）

日時：令和7年7月25日（金）

午後1時30分から午後4時15分まで

内容：講義・演習

「幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに～」
名古屋学芸大学 教授 津金 美智子 氏



この研修を校区の園・小学校・義務教育学校等の合同研修会として同じ場で一緒に受講し、今後の取組について話し合うとより効果的です。ぜひ、参加をご検討ください!!
開催要項等は、6月17日付けで小中学校課より通知しております。締め切りが間近となっております。各市町村教育委員会の学校教育担当課及び保育担当課より提示されている締め切り日を御確認の上、お申し込みください。



鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

西部教育局
令和7年7月

チャンス!

優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「中学校 国語」

米子市立

後藤ヶ丘中学校

米子市上後藤1丁目1番1号

●授業者

安部 裕城 教諭

授業日

7月3日
(木)

6月23日(月)
申し込み
締め切り

●開催時間 【受付】 13:30~13:50
【公開授業】 13:55~14:45
【研究協議】 15:00~16:30

※西部地区国語教育研究会研修会と兼ねています。

●授業内容

【学 年】 第3学年

【単元名】 「編集して伝えよう」

- ・学習指導要領の指導事項をもとに「めあてーまとめ・振り返り」を正対させた授業づくり
- ・指導と評価の一体化

昨年までと参加申し込みの手順が変わりました。

参加申し込みの手順

「とりネット」からのアクセス方法

